

## ■2008/11/12 ベトナムIT技術者等の知事表敬訪問

ベトナム人SEの育成事業を、IT企業4社(高知電子計算センター・四国情報管理センター・ソフテック・テックス)と、土佐電子のグループ企業である土佐電子ベトナムが母体となって進めてきました。

2007年12月採用活動をこなし、翌2008年2月より採用された9名が9ヶ月の日本語授業や技術習得の訓練を受けてきました。この度、予定していた12ヶ月の訓練期間を繰り上げ、ついに来高しました。

来高に際して高知県庁を訪れ、山崎商工労働部長に挨拶した後、尾崎知事と面談しました。当事業は、2007年6月(社)高知県情報産業協会のベトナム視察事業より端を発したもので、視察を主管した広報委員会の栗田委員長が、ご縁の取りもち役?として参画し、知事との面談にも出席しました。

IT企業4社と土佐電子に加え、ケンジンが加わることで6社の共同事業として進み、今後の発展が期待されます。

### ●2008年11月13日高知新聞(朝刊)

# 越からSE 技術習得へ

## 知事を表敬訪問 県内4社で業務

ベトナム人システムエンジニア(SE)の育成に取り組む県内企業とSEらが十二日、尾崎正直知事を表敬訪問。激励を受けた。

県庁を訪れたのは、土佐電子(土佐市高岡町乙、辻昭得社長)の現地法人、土佐電子ベトナム(ホーチミン市)が、昨年十二月に採用したSE九人のうち八人。

尾崎知事に「高知の人や文化になじんで頑張ってください」と励まされたSEは、「日本のいい技術を学んで、いろいろな所や文化も見てみたい」などと抱負を述べた。

SEらは、二年間をめどに派遣先の県内IT四社(高知電子計算センター、四国情報管理センター、ソフテック、テックス)でノウハウを習得。帰国後は土佐電子ベトナムが新設する五十人規模のソフト開発部門の幹部SEとして、四社の業務などを担当する。

同社では十二月に第二期の五人も入社予定。辻社長は「ベトナムとの橋渡しをするS

尾崎知事を表敬訪問したベトナム人SEら(県庁)



### ●商工労働部 山崎副部長とお話

高知の食べ物の話や高知の印象などについていろいろと質問された

●みんな緊張した面持ちだったが、  
流暢な日本語で答えていた



●少しずつ緊張もほぐれ、  
終始リラックスした会話が続く



●いよいよ知事との面会  
知事の到着までみんなドキドキ



●尾崎知事待ち  
みんな神妙な顔



●知事来た！

●(株)高知電子計算センター川内社長より  
経過報告

### [川内社長の話]

平成19年6月に、高知県商工部とシンガポール事務所・株式会社ケンジンにお世話いただいて、ベトナムの大学とIT事業者の視察に行ってきました。

現地の大学では、懇談会もさせてもらい相当優秀な卒業生を輩出していることを大学学部長より聞いてきました。また、現地のIT専門会社ではブリッジ・システム・エンジニアという新たな仕組を勉強して来ました。ブリッジ・システム・エンジニアとは日本の仕事のやり方や仕様書に書かれていることを良く理解し、そのうえに立ってベトナムのチームを現地で指揮してくれるリーダーと言うことになると思います。

平成19年11月には、我々4社と土佐電子ベトナムで基本合意書を締結して、土佐電子ベトナムにソフト部門を立ち上げてもらい、第1期生採用、その後日本語とコンピュータ言語の教育を約10ヶ月受けてもらいました。日常会話が出来始めたこと、法的にも条件が満たされたことから今回20年11月9日 8名が入国した次第です。

今後我々4社は各社2名を配員してもらって、業務に従事してもらいますが、ベトナムより入国された皆様を自社の社員と同様に大切に扱いそれぞれの会社の業務内容を習得させ1～2年かけて、本物のブリッジ・システム・エンジニアに育てあげようとしております。

このようなことで将来、我々県内四社にとっては会社の競争力を強めることが出来ます、またベトナムの土佐電子ベトナムは業容の拡大が図れますので、あわせて仕事を通じて隣国との親善にも寄与していきたいと考えているところであります。

本日は時間をとっていただきありがとうございました。

### ●(株)土佐電子社長より技術者紹介



### ●尾崎知事との意見交換



### ●みんなで記念撮影







●握手  
知事「頑張ってください」

●あちこちで取材される



●真剣な表情で受け答え



●四国情報管理センター(株)中城チーフ  
マネージャーも…



●辻社長も…、  
新聞、テレビ局の取材攻勢！

